

## 政務調査研究視察 報告書

視 察 日	平成22年6月27日 (日) AM10:30～AM11:30
視察 内容	丸亀市立資料館について
視 察 者	山本 雅宏、山崎 憲伸、山崎 泰信

### 《調査項目》丸亀市立資料館について

#### \* 丸亀市立資料館の概要

丸亀城郭内、天守閣の西に位置し、本館と付属の展示施設からなる。1972年に開館し、藩政時代の丸亀城と京極氏に関する資料や美術工芸品や民具等2000点以上が貯蔵されている。開館時間は、午前9:30～午後4:30。休館日は、月曜日、祝日、年末年始。



#### \* 丸亀市立資料館の現況

数年前までは、当市の小学3年生は、3学期に授業の一環で見学会として来館、昔の人の衣食住の道具等の学習をしていたとのこと。来館実績については、ここ10年では、平均29199人であり、開館以来の平均値を上回っているとのこと。来館者からの反応としては、丸亀城や歴代藩主等に関する資料の展示を充実してほしい旨の要望が出ているとのこと。



#### 感想・岡崎市への反映

悠紀の里整備事業が公表されました。本事業は、悠紀斎田広場に文化施設を建設するものであり、施設内には、斎田資料館の移設が、計画されております。本市の生涯学習の場として、児童生徒の総合学習の場として、期待されている施設であり、丸亀市資料館の展示物の見せ方やレイアウトは、大変参考になりましたし、親子の参加が期待できる体験型の要素を取り入れていることも、ワークショップ時の提案内容に値するものと考えます。

# 政務調査研究視察 報告書

平成 22 年 7 月 5 日提出

視 察 日	平成 22 年 6 月 28 日(月)
視 察 先	兵庫県 たつの市
視 察 内 容	本竜野駅周辺整備事業について
視 察 者	山本雅宏 山崎憲伸 山崎泰信

た  
つ  
の  
市

## 〔本竜野駅周辺整備事業について〕

### 1 概要

たつの市では、龍野地域の市街地を「都市交流拠点」として位置づけ、本竜野駅周辺について、その玄関口にふさわしいまちづくりを目指し、本竜野駅周辺整備事業を計画し、本竜野駅の橋上化と自由通路並びに観光交流施設の建設と、駅周辺整備としてアクセス道路、駅前広場、駐車場並びに駐輪場等を整備することによる交通結節点の強化と利便性を図っている。



### 2 現況

平成 20 年から建設を進めてきた、本竜野駅の橋上化と自由通路並びに観光交流施設が平成 22 年 3 月に併用開始した。

以前からJR線により、東西が分断され、東西をつなぐ自由道路を望む声が多くあり、平成 17 年 10 月の 1 市 3 町による合併に際して、合併特例交付金を利用し、老朽化した本竜野駅を橋上化し、それに合わせ周辺地域の整備を進めている。



## 〔感想・岡崎市への反映〕

現在、岡崎市においても名鉄東岡崎駅周辺整備計画が進められており、第 1 期工事が始まったが、本竜野駅整備に関しては、総工費約 35 億円の内、JR の負担分が僅か 1600 万円であり、本来 JR が負担すべき、バリアフリー化の費用もほとんど負担していない。

これは最初から合併特例交付金の使用ありきで計画を進めた市側の心理を巧みに JR 側に衝かれたものであると推察できる。

岡崎市においても名鉄側との交渉は慎重に行う必要があると感じた。